

今、ゲノム指針改正について考える

10月9日 水 13:30-17:00 (13:00開場)

2018年8月より、文科省・厚生省・経産省の合同委員会およびタスクフォースにおいて、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針(ゲノム指針)、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(医学系指針)の内容の見直しと指針間整合に向けた検討が開始され、現在、2019年度中の改正指針公布に向けた検討が行われています。考える会でも、昨年度より、倫理審査やゲノム研究の現場の声を指針改正に反映することを目標に、指針改正に向けたアンケート調査やワークショップを開催し、検討を行ってきました。そこで今回、改めて「今、ゲノム指針改正について考える」をテーマにヒトゲノム研究倫理を考える会を開催いたします。是非ご参加下さい。

毎日インテシオ(4F)大会議室 大阪市北区梅田3丁目4番5号

http://www.mai-b.co.jp/osaka/30_access.html JR大阪駅桜橋口、JR福島駅、地下鉄西梅田駅より徒歩5分



会場

プログラム

13:30-13:35

「開会の挨拶」

小原 雄治 (国立遺伝学研究所)

13:35-13:50

「ゲノム指針改正に向けた提言報告」

加藤 和人 (大阪大学大学院医学系研究科)

13:50-14:20

「ゲノム指針改正の現状紹介およびバイオバンクの重要性」

徳永 勝士 (国立国際医療研究センター)

休憩 20分

14:40-15:10

「研究における結果の返却」

長神 風二 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)

15:10-15:40

「遺伝カウンセリングの現場から」

佐藤 友紀 (大阪大学医学部附属病院遺伝子診療部)

休憩 20分

16:00-17:00

質疑応答・総合討論

お申込み

定員

150名 (参加費無料)

対象

大学・研究機関の倫理審査関係者、研究者など

参加登録

下記ページのフォームから参加登録をお願いします。

<https://www.genomics-society.jp/news/event/post-20191009.php/>

※事前参加登録は10月8日(火)12:00まで

